

第 60 回アジア開発銀行年次総会愛知・名古屋支援実行委員会 第1回総会 開催結果

1 開会

○大村会長 挨拶

皆さんこんにちは。愛知県知事の大村秀章です。第 60 回アジア開発銀行愛知・名古屋支援実行委員会の第 1 回総会の開会にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

本日は、年始のご多忙の中、ご出席いただきありがとうございます。財務省から細田審議官、アジア開発銀行から高橋駐日代表にご臨席をいただいております。誠にありがとうございます。

さて、愛知県・名古屋市では、第 60 回年次総会の誘致を目指し、2024 年12 月に名古屋商工会議所、中部経済連合会、名古屋銀行協会とともに「誘致推進協議会」を設立し、地域一丸となって誘致活動を進めて参りました。その結果、昨年 2 月に財務省から国内開催候補地に設定いただき、5 月にイタリア・ミラノで開催された第 58 回の年次総会において開催地として正式に決定されました。国内での開催は 1966 年の創立総会以来6か所目、愛知では初めての開催となります。前回は横浜で第 50 回、それ以来ということでございます。

開催決定を受け、会議の支援や機運醸成に向けた取り組みなどの必要な準備を進めるため昨年 7 月に「支援実行委員会」を設立いたしました。そして、開催まで 1 年半を切りまして、さらに取り組みを加速させるため、この度、新たに経済団体・金融団体の皆様にご参加をいただきまして、第 1 回総会を開催することとなりました。また、昨年 8 月に私はフィリピンを訪問いたしまして、ADB 本部でカラスコ官房長、清水日本理事と面談し、会議の成功に向け準備を進めていくことをお伝えするとともに、引き続き、連携をお願いいたしました。

さて、愛知県は製造品出荷額が半世紀にわたり日本一ということでありまして、自動車産業を中心に我が国経済の成長エンジンとして力強く成長しております。また、モノづくり企業だけでなく、日本最大のスタートアップ支援拠点STATION Aiもスタートし、革新的イノベーションの創出も進めております。年次総会を契機として海外との新たな交流を生み、アジア各国との結びつきを一層強化することでアジア全体の経済成長に貢献するとともに、この愛知・名古屋の国際的な知名度や都市ブランドの向上につなげていきたいと考えております。

そして今年 9 月、10 月に開催されます「アジア・アジアパラ競技大会」では、アジア45の国・地域から、約 2 万人近いアスリート選手団、そしてまたさらに応援団などもお越しになります。アジア大会を成功させ、その半年後の 2027 年 5 月の ADB 年次総会へとつなげ、アジアや世界のとの交流拠点としての機能を一層高めていきたいと考えております。

また、当地域は味噌、醤油、日本酒、漬物といった個性豊かな発酵食文化が根づいております。そうした食文化やゆかりの史跡、ジブリパークなど多彩な魅力にあふれております。こうした魅力を存分に感じていただける企画、エクスカージョンも用意してしっかりと盛り上げてまいります。結びに、2027 年の年次総会の開催に向けて、皆様の一層のご支援を賜りますようお願いを申し上げます。会長としてのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○広沢会長代行 挨拶

皆さん、こんにちは。実行委員会の会長代行を務めさせていただきます、名古屋市長の広沢一郎でございます。第 1 回総会の開会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。本日は年始

のご多忙の折、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、財務省の細田審議官をはじめ、本日ご臨席をいただいております来賓の皆様方にも厚く御礼を申し上げます。

今年は秋にアジア・アジアパラ競技大会がある他、5 月にはアジア・オセアニア地域の消防幹部が一堂に会する国際会議であるアジア消防長協会総会が開催され、当地域のアジアからの注目が高まる1年となる見込みでございます。その流れでこの地域で各国の財務大臣や中央銀行総裁等が一堂に会する、大変格式のある国際会議であるアジア開発銀行年次総会を開催できることを心からうれしく思っております。

年次総会では政府関係者の他、金融機関関係者をはじめ、国内外から 5,000 人もの方々が名古屋にお越しになると見込まれております。この貴重な機会が当地域が誇る産業経済の力を各国に発信する場となりますよう、是非とも多くの地元企業の皆様方に年次総会に関わっていただきたいと考えております。

また、名古屋城や熱田神宮などの観光文化、そして名古屋の食といった当地域の魅力も楽しんでいただけるよう、参加者に向けたおもてなしにも力を入れてまいりたいと考えております。年次総会を契機に、世界から選ばれる名古屋として、当地域の強みを生かし、企業や人材、資金といった投資を呼び込む都市形成に向けて、皆様とともに取り組んで参りたいと考えております。本日お集まりの各団体の皆様方には、様々な面でご協力をよろしくお願いいたします。

なお、アジア開発銀行年次総会は、名古屋国際会議場をメイン会場として開催される予定となっております。その名古屋国際会議場では現在改修工事を行っておりまして、来年 4 月の利用開始を予定しているところでございます。改修工事が終わった利用開始直後に開催されるということで、装いを新たになった会場で各国からの皆様をお迎えできるよう、本市といたしましては着実に改修工事を進めてまいります。

本番まで 1 年 4 ヶ月、年次総会の安全な開催とその成功に向けて、引き続き当実行委員会を通じ、地域一丸となって開催支援や機運醸成に努めてまいりたいと考えております。皆様方には、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○来賓挨拶 財務省 細田審議官

ご紹介いただきました財務省国際局でアジア開発銀行の担当審議官をしております細田でございます。本日はこのような機会にお招きいただき誠にありがとうございます。

まず、2027 年 5 月に予定されておりますアジア開発銀行の第 60 回の年次総会につきまして、愛知県や名古屋市より力強く、また、熱意に満ちたご提案をいただき、開催地をお引き受けいただいたことに対しまして厚く御礼を申し上げたいと存じます。

本総会は、日本、またアジア開発銀行、愛知県、名古屋市、それぞれにとって大きな意義を有する会議だと考えております。日本にとりましては設立を主導いたしました ADBを通じて半世紀以上にわたりアジア太平洋地域の経済社会の発展に貢献してきた歩みを内外に示すとともに、日本が今後も地域の発展に主体的に関与していく姿勢を発信する、極めて重要な機会だと考えております。

また、ADBやその加盟国にとりまして、本総会はADB が最も信頼されるパートナーとして、域内の国々とともにアジア経済の発展を支えてきた実績を改めて示し、その活動やインパクトへの理解を一層深めていただくとともに、国際社会において、アジア地域とADB のプレゼ

ンスを高める場ともなっております。そして、開催地の皆様にとりましては 69 の加盟国・地域から、財務大臣や関係者約 5,000 人の参加者が名古屋に一堂に介することになります。地域の魅力、地域経済の強み、こういったものを世界に発信し、国際的な人的・経済的ネットワークを拡充する絶好の機会にもなるということで、地元経済また観光分野をはじめ幅広い分野への波及効果も見込めるものと考えております。

私ども財務省といたしましても、加盟国政府代表団を始め、国内外から参加される皆様にとって更大きな会議となりますよう、また、地域の魅力、強みが世界にしっかりと伝わるように、愛知県、名古屋市の皆様をはじめ、ここにいらっしゃる関係者の皆様方と緊密に連携し、着実に準備を進めてまいりたいと思っております。

本日ご参集の支援実行委員会の皆様におかれましては、どうか今後とも格別のご支援とご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。

○来賓挨拶 アジア開発銀行 高橋駐日代表

皆様こんにちは。アジア開発銀行駐日代表の高橋と申します。私からも一言申し上げさせていただきます。

まずは、冒頭に、大変心強いお言葉をいただきまして、大村知事、広沢市長ありがとうございます。実行委員会を始め、愛知・名古屋の皆様には、弊行から心から御礼申し上げます。

日本では 10 年ぶりとなります ADB 年次総会の開催に向けて、多方面でご準備、ご対応いただいておりますこと、深く感謝いたします。先ほど細田審議官からもお話がありましたように、ADB 年次総会は経済開発分野における国内最大級の国際会議でございます。

2027 年には、ここ愛知・名古屋に世界の注目が集まります。皆様の地域の魅力や強みを世界に発信いただく絶好の機会としてご活用いただければと思っております。

総会開催中は複数の会議が同時並行で行われる他、開催国・開催都市の文化を紹介するイベントも開催されます。例えば、2023 年の韓国・インチョンでは、世界的に人気を博しておりました K-POP グループの出演がありました。また、昨年イタリア・ミラノでは、スカラ座を貸し切り、オペラ歌手がパフォーマンスを披露していました。各開催地では国を挙げておもてなしパフォーマンスをご提供いただいている状況です。毎年、期待値がどんどん高まっております。2027 年の愛知・名古屋につきましても世界から寄せられる期待の大きさを強く感じております。

また、昨年 11 月には、支援実行委員会共催、財務省ご支援のもと、「ビジネス機会説明会」を名古屋で開催し、多くの皆様にご参加いただきました。年次総会の成功には入念な準備はもちろんのこと、地元の皆様のご関心や熱意が重要ですので大変心強く感じました。

今後も、支援実行委員会をはじめとする愛知・名古屋の皆様、そして、財務省をはじめとする関係機関の皆様と緊密に連携して総会準備を進めるとともに、ビジネスやアカデミアなど様々な分野でのコラボレーションの機会を設けていきたいと考えています。引き続き、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

2 議事

- | | | |
|-----|------------|------------|
| (1) | 規約の改正について | 原案どおり承認 |
| (2) | 副会長の選任について | 原案どおり承認 |
| (3) | その他 | 実行委員会の取組説明 |

3 閉会

以上